

2024 年 3 月 8 日

CDP サプライヤー・エンゲージメント・リーダーに選定されました ～サステナビリティ経営推進への取り組み～

鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：伊藤泰司）は、環境評価を行う国際的な非営利団体である CDP（※1）によるサプライヤーエンゲージメント評価（SER）において、最高評価であるサプライヤー・エンゲージメント・リーダーに選定されました。



サプライヤーエンゲージメント評価は、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを、CDP 気候変動質問書の中の「ガバナンス」、「目標」、「スコープ 3 排出量」、「サプライヤーとのエンゲージメント」への回答と、質問書全体のスコアから評価されるものです。なお、当社グループは CDP 気候変動部門においても「A リスト」に選定されています。

当社グループの温室効果ガス排出量はスコープ 3 が全体の 9 割以上を占めているため、サプライチェーン全体での取り組みが重要となっています。当社グループは「持続可能な社会を実現するために、社会インフラ建設の担い手として、グループの力を結集し、事業活動の環境負荷低減を進め、脱炭素・循環型・自然社会共生社会の実現に貢献する」という環境方針を立て、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」（※2）の提言に沿った情報開示においても、ガバナンス、戦略、リスク管理及び指標と目標を策定し、サプライチェーン全体での事業活動から発生する温室効果ガスの削減対策を進めています。

今後もサプライヤーと協働して対策を進め、持続可能な社会の実現に向けて社会的価値と経済的価値の両立をめざす取り組みを推進していきます。



※1 CDP (Carbon Disclosure Project)

英国の慈善団体が管理する非政府組織 (NGO) で、世界中の機関投資家・購買企業の要請を受けて、企業の環境情報開示を促進する活動を実施している。

※2 TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures : 気候変動関連財務情報開示)

G20 の要請で金融安定理事会 (FSB) により設立されたタスクフォース。気候変動がもたらすリスクおよび機会の財務的影響を把握し開示することを推奨している。

関連プレスリリース

2024 年 2 月 7 日 [CDP 気候変動部門で最高評価の「A リスト」に選定されました](#)

お問い合わせ先

〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町 2-5-3

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

鉄建建設株式会社 経営企画本部 広報部